バリアフリーフェスタかながわについて

（概要・前回総括の振返り・令和４年度方向性）

1　フェスタの概要・目的

神奈川県バリアフリー街づくり推進県民会議（以下「県民会議」という。）では、障がい者、高齢者、妊産婦、乳幼児連れの方などが安心して生活し、自らの意思で自由に移動し、社会に参加できる街づくりを進めている。

　その一環として、県内の障がい者等の関係団体や事業者・ＮＰＯ団体、県民からの公募委員、行政の協働により、「バリアフリーフェスタかながわ」（以下「フェスタ」という。）を年１回、開催している。

　１～４回目は相模原市内の商業施設（ヨーカドー）、５回目は横浜市内の大学構内施設（慶応義塾大学内）で開催し、直近の６～７回目は横浜市内の商業施設（そごう）で介護フェアと同時に開催した。

　このフェスタは、県民会議内に設置された実行委員会が企画・立案したもので、その目的は、県民会議が取りまとめた提案書を広く県民に周知するとともに、バリアフリーの街を体感していただき、バリアフリーの街づくりに対する理解を深めていただくことにある。

〔企画・立案に当たっての考え方〕

・　県民会議の理念に基づき、県民・事業者・行政が協働で実施する。

・　継続的にフェスタが開催できるよう、持続的かつ安定的な開催形態を意識して準備を進める。

・　県民から広く意見を募るよう、開催会場は誰もが自由に参加できるような場を設ける。

・　当事者団体・事業者団体からの参加を積極的に促す。

・　県民から多くの意見をもらえる形式とする。

・　来場者が気軽・身近に感じられる参加型・体験型の内容を中心としつつ、来場者が「大変だね」「かわいそう」では終わらない、バリアフリーの必要性、支えあいの心を自然と身につけるものとする。

・　ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、来場者の誰もが安全・安心に参加できるように配慮したイベントとする。

・　フェスタ全体で統一的なテーマを設定して、各団体のコーナー運営に取り入れる。

２－１　前回フェスタ概要と総括の振返り（詳細は参考資料１参照）

1. 日時：令和元年11月２日（土）　11：30～17：00
2. 会場：横浜新都市ビル(そごう横浜店)９階センタープラザ等
3. 主催：神奈川県バリアフリー街づくり推進県民会議
4. 内容

ア　テーマ「やってみよう！あんなことやこんなこと～ともに生きる社会に向けて～」

　　イ　県民会議構成団体を含む20団体が16コーナーを企画し、運営

　　ウ　スタンプを集めると景品がもらえるスタンプラリーを実施（コーナー３か所以上条件）

　　エ　上記に加えアンケートへの回答を景品交換の達成条件とする

　　オ　同日、県主催の介護フェアｉｎかながわが開催され、スタンプラリーコーナー等、相互乗り入れを図った。

1. 参加者数：コーナー 延1,449名、スタンプラリー達成262名

２－２　前回アンケート結果

（１）来場者向けアンケート（n=290）（詳細は参考資料２参照）

ア　来場者は50代が25.2%、70代が21%、40代が19.4%と中高年層が多くなった。

イ　職種は、主婦が25.9%、会社員19.3%、介護分野16.9%の順となった。

ウ　イベントを知ったきっかけは、新聞が19.3%、知人・友人等17.9%、その他17.9%の順であり、従来に引続き「新聞」が最も多く、その他では、「県のたより」等の広報誌の記載が複数あった。

エ　「また参加してみたいか」という問は、「そう思う」と「やや思う」で合計90.4%

オ　「バリアフリーの取組への興味関心は高まったか」という問は、「高まった」と「やや高まった」で合計75.2%

カ　「自由な意見」では、「知らないことばかりだったので、また参加したい（20代）」、「実際の当事者との交流やふれあいがあることで、理解が深まった（30代）」「目の不自由な人を案内してみたり、実際に体験でき、役立ちそう（40代）」等の意見が寄せられ、とくに当事者等との体験型コーナー等へ好意的な意見が多く寄せられている。

1. 実行委員会向けアンケート（詳細は参考資料３参照）

主な意見の分類分けによる課題抽出では、次のような意見が挙げられた（抜粋）

ア　目的、考え方

* 次回も広報を強化し、多くの人に参加してほしい。
* デパートという場所柄、内容に興味はないが景品目当の人等、いろいろな方が来場し、それはそれで良い。
* 視覚障がい者への誘導体験、手話講習会等、実際に体験するコーナーが良かった。

イ　開催場所

* 買物や食事の人が参加しており良かった。次回もそごう９階で実施してほしい。
* 建物は駅から近いが９階のため、通りがかった人の参加は少ないように感じた。
* 開催場所や時期を定めることで広く周知され、出展団体もやりやすいと感じる。

　　ウ　集客・周知

* 関係団体とも連携しより周知を強化したい。　・さらに周知工夫が必要

　　エ　運営体制

* フェスタ内で連携（ファンケルとアデランスの連携企画、他コーナー内の協力）が

取れて良かった。

* 一部のコーナーは狭い一方、アンケートコーナーが広い等の状況があった。
* ピンクシャツを着用し、フェスタの一体感が出て良かった。

オ　同時開催

* 同時開催によって集客力が得られた。
* 同時開催によりお客様も流れてきて、また新聞広告・中づり広告を出せて、周知の際も多くの人の目に触れられるので良かった。
* スタンプラリーを通じて、双方のイベントに参加する人が複数見受けられた。
* 学生や子どもが集まるイベントと同時開催としてはどうか。
* イベント内容の共有など、さらなる連携が必要と感じた。

　３　対応策（詳細は参考資料１参照）

1. 目的・考え方

商業施設等での開催やＳＮＳの活用等を行い、普段、バリアフリーになじみの薄い方にも参加してもらえるよう、さらに周知を強化する。

また、主催している県民会議の活動内容の周知についてもあわせて強化を図る。

1. 開催日時・場所

開催場所について、バリアフリーに関心が薄い人の集客が可能な点や、同時開催イベントもあり、立地が良いことから集客力について、好意的なご意見が多く、開催場所や日時を定めることで、広く周知され、出展団体においても出展の要領がつかみやすいとの意見があった。そのため、横浜新都市ビル（そごう横浜店）9階（令和元年度開催場所）を引き続き来年度の会場とし、令和元年度に実施した際の反省点を生かした開催としたい。

1. 集客・周知の工夫について

スタンプラリーの達成条件となる最低限のコーナーしか回っていない人が多くいたとのご意見があり、抽選回数を増やす等のさらなるメリットを作る等により、来場者に多くのコーナーを周遊してもらえるように努める。

また、「家族、友人、知人」がきっかけとなり、参加された方が増えていたため、県民会議構成団体をはじめとしたフェスタ関係団体間においても連携を取る等して、周知を強化する。

1. 事前準備について

同時開催イベントとの情報共有や連携について意見があった。フェスタ実行委員会での検討段階から、同時開催イベントの担当にも参加してもらう等して、情報共有を進め、より良い連携方法を検討する。

1. 運営体制について

準備は引き続き、県民会議構成団体等による実行委員会で準備を進める。

当日の運営に関し、同時開催イベントにて基調講演等のメインステージが行われている間の集客の工夫について検討する。

1. 同時開催について

当日の集客や事前広報の強化が可能となっていること等から、好意的な意見が多くあった。同時開催は継続し、イベント内容の共有やさらなる連携を検討する。

1. 良かった点や工夫

良かった企画や工夫として、体験型の企画が多く挙がった。来場者からのアンケートにおいても、体験に関する感想が多くあり、体験型のコーナー参加を通じ、バリアフリーの街づくりへの理解を深めて頂き、自らが行える対応について身につけてもらえるよう引き続き努める。

４　令和４年度の方向性

1. 企画・立案にあたっての考え方

１ページ記載のこれまでの考え方を基本としつつ、何が障害を作り出しているのか、自分達に実際にできることは何か、など気づきを与えられるような工夫を各コーナーや事務局コーナーなどで行えるよう、意識して工夫を図る。

1. 実施・運営について

「３　対応策」に記載の方向で実施することとする。

また、その後の新型コロナウイルス感染症の拡大を踏まえて、消毒や、密にならないコーナー人員数など、感染症防止対策をしっかり行った上で安全に実施するとともに、オンラインによる対応の方法等も併せて検討する。

1. コロナ禍での普及活動との整理について

前回第20回県民会議において、フェスタは、新型コロナウイルス感染症の影響で２年中止となったことを踏まえ、コロナ禍で普及を着実に進めるため、市町村等のイベントへの小ブース出展等、分散化・小規模化の検討をお示ししたところ（前回資料２、４）

しかし、県内市町村への事前アンケート結果では、協力可能な市町村が非常に少ない現状であった。（イベント参加可能：逗子市、ブース出展可能：山北町他１町）このため、分散化開催した場合の効果は限定的になると思われる。

また、今後のイベント改善にあたっても、実施～課題抽出～改善と順を追った対応としていく必要があること等も鑑みて、改めて検討した結果、令和４年度については、従来の実施方法を取り、前回フェスタ開催時の課題を踏まえて改善を加えつつ、また新型コロナウイルス感染症対策を加えて開催することとしたい。

そのうえで、令和５年度以降の開催方法については今後の検討事項とすることとする。

1. 令和４年度の開催について（案）

ア　日時

令和４年11月５日（土）　11：30～17：00

イ　場所

横浜新都市ビル（そごう横浜店）９階センタープラザ、新都市ホール、

新都市ホールホワイエ（横浜市西区高島2-18-1）

※介護フェアと同時開催

ウ　テーマ（実行委員会で決定）

・　県民に分かりやすく、伝えやすいものとする。

・　バリアフリーフェスタ出展・県民会議構成各団体が共通認識として持つことができるものとする。

・　各団体のコーナー内容に無理なく取り入れやすいものとする。

エ 今後のスケジュール（案）

　　令和４年４～６月　　出展団体募集（参加意向の確認）

　　令和４年５～６月　　第1回実行委員会開催

令和４年８月　　　　第２回実行委員会開催

　　　令和４年10月　　　 第３回実行委員会開催

令和４年11月５日　 バリアフリーフェスタ開催